

2016年度 夏季研修会 報告

今年度の夏季研修会は、立命館大学教授の宮口幸治先生をお招きし、「コグトレ～認知機能強化トレーニング体験と認知作業トレーニング・ワークショップ」という題で、8月1日14時からグランキューブ大阪で行いました。



宮口先生は、これまで宮川医療少年院などで発達上の課題がある少年たちへの支援に長年取り組まれ、その成果を学校現場などに紹介している方です。

今回のワークショップでも、みる、きく、想像する、といった基礎学力の土台が弱く学習面で困っている子どもたち、不器用で身体面で困っている子どもたちのための新しい支援方法を体験することができました。

当日、早くから参加者が熱心に集まり、先生方の関心の高さがうかがわれました。ご講演いただいた内容は、発達障がいや知的障がいのある子どもたちの学習支援につながる認知機能強化トレーニングと不器用な子どもたちへの認知作業トレーニングで、すぐにでも使えることばかりでした。

講演前半は、1つの絵を示しながら、これをきちんと模写できない子どもたちの困り感の話からスタートし、見る・聞く・想像するための認知機能強化トレーニングをひとつずつ説明していただきました。板書を写せない子の練習になりますとか、聞く力や集中力がついてくるようになりますとか、本当にひとつずつ丁寧に話していただきました。

後半は、認知作業のトレーニングということで、コグトレ棒(新聞紙を丸めて作った棒)を使って自分の身体や力加減を知ることから始まり、コグトレ棒を片手でいろんな方向に回したり、複数の人が集まってコグトレ棒を隣の人に送ったりしました。また、グループでつまようじを積むことや、人の動きをまねしたり、動きを言葉だけで伝えたり等、いろいろなことをやりました。盛りだくさんのことを参加者皆さんで過ごすことができ、本当に楽しく、有意義な講演でした。(時間の関係で、少し、はしょった内容になりましたが、それでも十分満足できる内容でした)



また、機会があれば、宮口先生の講演会に参加させていただきたいと思います。参加された方のアンケート集約したものを別途まとめてありますのでご覧ください。

会場の定員の関係で参加できなかった方が多くおられ、申しわけございませんでした。今後の研修会の運営等について検討し、よりよい研修会を目指していきます。